

2020年2月28日
損害保険ジャパン日本興亜株式会社

「BRIDGE CHIBA」ブルーシート大作戦への協賛について

損害保険ジャパン日本興亜株式会社（取締役社長：西澤 敬二、以下「損保ジャパン日本興亜」）は、千葉テレビ放送株式会社（本社：千葉市中央区、代表取締役社長：篠塚 泉）が展開する“「BRIDGE CHIBA」ブルーシート大作戦”に協賛しますのでお知らせします。

1. 背景・経緯

- ・2019年9月、関東では観測史上最強となる房総半島台風（2019年台風15号）が千葉県に上陸し、翌10月にも東日本台風（2019年台風19号）などの大雨により千葉県内に甚大な被害がでました。被災から5か月以上経った今でも県南部を中心に壊れた住宅の修理は続いています。
- ・損保ジャパン日本興亜は、地域に根差した事業活動を活かして、グループの経営理念である「安心・安全・健康に資するサービスの提供」を通じて地域貢献に取り組んでおり、千葉県内の被災地が早期の復興が実現できるよう本取組みに賛同し協賛するものです。

2. 概要

- ・本取組みは、千葉県内の被災地で使用されたブルーシートを回収、洗浄、裁断して“トートバック”に加工し、それを販売して得た売上金の一部を県内で活動する復興支援団体に寄付するものです。
- ・バッグは3,000個製作・販売し、活動費（30%）を除く売上の約7割が被災地に還元されます。
- ・ブルーシートの回収場所は県内部（鋸南町、南房総市、館山市）、バッグ縫製は南房総市、ロゴプリントは山武市、包装・配送は千葉市美浜区と“オール千葉”でONE TEAMとなり、プロジェクトを進めていきます（プロジェクト終了予定：2020年12月末）。

3. 今後について

- ・寄付金は、“復興の種”として「公益財団法人ちばのWA地域づくり基金」を通じ、千葉県内の被災地で専門性を活かした支援活動を行う民間団体に助成されます。
- ・損保ジャパン日本興亜は、被災地の早期復興のために県内企業と連携しながら今後も支援を継続してまいります。

以上